

アーツカウンシルとは

- ・ 専門家による助言、審査、評価、調査研究等の機能を有するもの
… (独) 日本芸術文化振興会ホームページより
- ・ 文化芸術に対する助成を基軸に、行政組織と一定の距離を保ちながら、文化政策の執行を担う専門組織であり、独立性と専門性を中核にした政策執行機関
… 日本文化政策学会シンポジウムでの発表より
- ・ 県レベルで11、市レベルで10のアーツカウンシルが設置済み (R8.3現在：本県調べ)
(行政の事業に留まるものを除く)

他県のアーツカウンシルで行われている事業を分類

相談窓口

- 文化芸術活動に関する様々な問い合わせにワンストップで対応

助成事業

- 文化芸術活動に対する助成事業
- 助成金の交付だけでなく、伴走型支援も実施

アーツカウンシルの主要事業であるが、関わり方に違いがある (⇒次ページ以降参照)

情報発信

- ホームページ、SNS等による情報発信
- クリエーター等をデータベース化し、公開

その他

- 講演会やシンポジウム、ワークショップなど自主事業の実施
- 大学との連携や人材派遣、調査研究、行政への提言など様々な例がある

(1) 助成事業を主体的に実施

●行政からの補助金等を財源とし、アーツカウンシルが主体となって助成

○アーツカウンシル東京 (2012年11月、(公財)東京都歴史文化財団内に設置)

(主な事業内容)

- ・相談窓口の設置、助成事業の実施、人材育成や体験プログラムなど多彩な事業を展開
- ・伝統芸能からメディア芸術までを支援対象とする幅広い助成メニューを提供 (R6助成枠約13億円)

○アーツカウンシルしずおか (2021年1月、(公財)静岡県文化財団内に設置)

(主な事業内容)

- ・相談窓口の設置、助成事業の実施 (R6助成枠：6,700万円、事前相談から伴走支援まで実施)
- ・専門人材の派遣やクリエイター及び文化資源のデータベースを構築・公開など様々な事業を展開

○信州アーツカウンシル (2022年6月、(一財)長野県文化振興事業団内に設置)

(主な事業内容)

- ・相談窓口の設置、助成事業の実施 (R6助成枠：4,000万円、事前相談から伴走支援まで実施)
- ・県障害者芸術文化活動支援センターと連携 (情報共有及び助言)
- ・大学との連携事業やアーティスト・イン・レジデンスの実施

○アーツ・クリエイションぎふ (2025年7月、(公財)岐阜県教育文化財団内に設置)

(主な事業内容)

- ・相談窓口の設置、助成事業の実施 (事前相談から伴走支援まで実施)
- ・クリエイターのデータベースを構築・公開

(2) 行政による補助事業のサポートを実施

- 行政が執行する補助事業に関する相談業務や審査、交付決定後の伴走支援などをアーツカウンシルが実施

○ 沖縄アーツカウンシル (2012年、(公財)沖縄県文化芸術振興会内に設置)

(主な事業内容)

- ・ 県による補助事業に際し、県から委託を受け公募、事前相談、審査、伴走支援を実施
- ・ 専門家によるアドバイザリーボードを設置し、事業の選定や評価を実施

○ 大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会 (通称：大阪アーツカウンシル) (2013年7月設置)

(主な事業内容)

- ・ 大阪府と大阪市が各自で行っている補助事業の採択審査、効果検証(視察等)、提言を実施
- ・ シンポジウムの実施

○ アーツカウンシルみやざき (2019年、(公財)宮崎県芸術文化協会内に設置)

(主な事業内容)

- ・ 「文化芸術のよろず相談所」として県芸文協が実施する助成事業の事前相談などを担う

○ ふくい文化創造センター (2025年4月、(公財)福井県文化振興事業団内に設置)

(主な事業内容)

- ・ 県による補助事業の手続きに関し、採択内定後の各種業務を受託するとともに伴走支援を実施
- ・ インクルーシブなイベント運営のノウハウを学ぶセミナーの開催や音楽イベント等を実施

(3) その他

○**アーツカウンシル高知** (2017年4月、(公財)高知県文化財団内に設置)

(主な事業内容)

- ・ホームページによりワンストップの情報提供を実施 (クリエイターのデータベースの公開が中心)

○**佐賀県アーツコミッション** (2023年4月、佐賀県文化課内に担当職員を配置)

(主な事業内容)

- ・専門家によるアドバイザリーボードを設置し、佐賀県文化芸術祭に参加する文化事業への補助の審査及び助言を実施 (行政と一体となって事業を実施)